

令和8年度第1回狐禅寺市民センター運営協議会 会議録

1 会 議 名 令和8年度第1回狐禅寺市民センター運営協議会

2 開催日時 令和8年6月16日（火） 午後1時30分から午後2時10分まで

3 開催場所 狐禅寺市民センターミーティングルーム

4 出 席 者

(1) 委 員 小野秀夫委員（議長）、千葉勝子委員、八木浩司委員、福田美雅子委員、
沖美津子委員

(2) 事務局 阿部徹狐禅寺市民センター所長、遠藤真主査、佐藤幸紀生涯学習支援員

5 議 題

(1) 令和8年度の運営方針と事業計画

(2) その他

6 公開、非公開の別 公開

7 傍 聴 者 なし

8 阿部徹市民センター所長あいさつ

梅雨入り前ですが、今週は夏のような気候となって暑さが増してきているところ、運営協議会に御出席いただきありがとうございます。

令和8年度の市民センター事業計画などについて説明いたしますので、より良い市民センター事業を運営していくため、皆様方には忌憚のない御意見をお願いします。本日はどうぞよろしくお願いします。

9 構成員・職員紹介

阿部所長から構成員5名と事務局3名の紹介を行った。

10 議長選出

事務局から、小野秀夫委員を議長とする案を提案し、同委員が議長に選出された。

11 小野秀夫議長あいさつ

市民センターが設置されている真滝4区の区長を務めております。本日は議事の進行に御協力をお願いします。

12 審議内容

(1) 令和8年度の運営方針と事業計画

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委 員 図書館の巡回図書と配架図書について、利用者数はどのぐらいか。また利用者のうち子どもの人数は何人ぐらいいるか。

事務局 毎月の巡回図書は常に来る方は2人ほどである。配架図書については体育館

等の利用者が借りていくことが多い。また、子どもはほとんど利用していない。

委員 20年ほど前までの今の市民センターまつりに当たるお祭りは、ステージで行う出し物を地元の住民で集まって披露してとても楽しかった思い出になっている。時代が変わり、地元住民が集まって催し物をすることが難しくなったと感じているが、さらにステージでの出し物を外から呼んだときはショックを受けた。

事務局 人を集めるためには、外から目玉となる出し物を呼んでこないとなかなか難しいと感じている。

委員 市民センターで開講している講座に、地元からの参加者が少なくなって、他地区からの参加者が多くなっている。

委員 他地区の人から「狐禅寺はバスで出かける行事が多いね」と言われる。

事務局 60代でも仕事を続けている方が多くなった現状では、新しく講座へ参加してくる方がなかなかいない。

委員 新しい催しを行うのは大変なので、今やっている講座等を大事にして続けていってほしい。

(2) その他

委員 地域に幼稚園が無くなるなど、地域内のつながりが薄くなっていると感じる。天王獅子舞、七福神等の地域独自に継承してきた伝統芸能も続けることが難しくなっている。

事務局 地域の伝統芸能は、やっていた人がいなくなってしまえば途絶えて復活できなくなるので、残っているうちにこぜんじ地域づくり協議会を中心に地域全体で継承する機運を盛り上げていければと考えている。

委員 元幼稚園の建物に入っている川嶋印刷さんと一緒に何かやることはあるか。また、何人ぐらい勤務しているのか。

事務局 川嶋印刷さんは土日休みのため一緒にではないが、環境整備作業を6月6日(土)に行うお知らせをしたところ、2日前に作業をしていただくということがあった。

勤務している人数は10人程度と思われる。

13 担当課 一関市狐禅寺市民センター